

# 市長 コラム

文 / 笠間市長 山口 伸樹

## 「公共施設の 在り方」



(写真) 北山公園 (左) と消防団の皆さん (右)

令和6年度がスタートしました。

市では本年度、今後の人口減少社会を見すえ、行政の制度や役割、公共施設の在り方などを検討する場を設けて本格的な議論をスタートさせ、市の方向性を出していく予定です。

議論のテーマは、公共施設の在り方、北山公園の在り方、各公園配置の見直し、学校適正規模や配置の見直し、消防団の在り方等、多分野にわたります。それぞれに審議会や内部において検討会を設置して議論を進めていく計画で、委員会の中には、市民、地域の代表、学識経験者等の皆さんに就任いただくことも考えています。

議論の経過については、市ホームページ等で随時、情報提供をしていきます。また、内容によつては、地域での説明会等も開催します。人口減少時代の中で、将来に負の大きな遺産を残さないために、身の丈に合った公共施設などの再編をしっかりと努めてまいります。

市民の皆さんも、各議論の経過や内容を注視してください。

今月の

Pick up

間伐材を活用した  
「木製サイクルラック」を  
設置しました

観光・交流資源などを生かしたサイクルツーリズムの推進を図るため、茨城県森林組合連合会と連携し、間伐材を活用した木製サイクルラックを新たに市内の公共施設や店舗など10か所に設置しました。  
スポーツタイプの自転車など、スタンドがない自転車を駐輪することができますので、ぜひ、ご利用ください。また、ラックを設置いただける施設も募集中です。設置の希望がありましたら、企画政策課までご連絡ください。

### ○設置箇所

ファミリーマート笠間中央店、笠間稲荷神社、笠間日動美術館、春風萬里荘、笠間市総合公園、笠間工芸の丘、栗のいえ、筑波海軍航空隊記念館、笠間つつじ公園、あたご天狗の森公園



「栗のいえ」に設置した木製サイクルラック

問 企画政策課 (内線 559)